

## ≡≡≡支部だより≡≡≡

### 昭和54年度東北支部講演会開催の報告

日本気象学会東北支部講演会は、仙台管区気象台の東北地方調査研究会と共催で、10月30日～31日の両日に仙台市で開かれた。東北地方の気象官署、緯度観測所、その他の学会員によって、20題の講演発表が行なわれた。

発表されたテーマは、雨、風、気温、ひょう等に関する広域あるいは各地域の事例解析、アメダスとレーダエコーとの関係、海陸風等が取り上げられ、日常の気象業務に深く関連する問題が多かった。

その他、地震、火山、気候変動、沿岸波浪等、それぞれ、気象業務、地震火山業務と地域に密着した研究が目立っている。これらの発表の間に、調査研究会で要請した気象庁気象研究所応用気象研究部長菊池幸雄氏による特別講演があった。2日間にわたり充実した講演と質疑応答が行なわれ、盛会裡に終了することができた。

講演題目および発表者は次のとおりである。

1. 北西季節風型気圧配置における宮城県南部の地上風系について  
仙台管区気象台 新関鏡三
2. 福島県の海陸風について（その2）  
福島地方気象台 新井俊男
3. 対流性エコーとアメダスとの関係について（レーダー協同調査中間報告）  
秋田地方気象台 宮手経雄
4. エコー強度とアメダス雨量との関係について（レーダー協同調査中間報告その2）  
秋田地方気象台 斉藤 寛
5. 岩手県における降ひょうの特性について  
盛岡地方気象台 工藤敏雄
6. 波浪監視装置の実用化について（脈動と波浪について第3報）  
石巻測候所 東谷平治
7. 寒候期の雨予測資料について  
青森地方気象台 角田東洋男
8. 水沢の気温について  
緯度観測所 菊地直吉
9. 東日本の気候変動に関する基礎調査  
学 会 員 木村耕三
10. マイコンによるレーダーAスコープ自動撮影装置  
仙台管区気象台 田中幸人
11. エネルギー変換過程からみた大規模擾乱のライフサイクル  
秋田地方気象台 佐々木喜一
12. 吾妻山、安達太良山、磐梯山付近に発生した火山性地震の震源推定について  
福島地方気象台 佐々木利夫
13. 北偏高気圧下における東北地方の気象（第3報）気温について  
盛岡地方気象台 昆 幸雄  
渡辺象吉
14. 秋田県の竜巻について  
秋田地方気象台 菊地 陞
15. 一層プリミティブ・モデルを使った地上風のシミュレーション  
仙台管区気象台 平沢正信
16. 深浦付近の群発地震（1978年9月～1979年4月）について  
一主として76型地震計モニター記録による調査—  
青森地方気象台 渡部 貢
17. 山形県の地震活動について（第2報）  
山形地方気象台 大野栄寿  
吉野 健  
大里修平  
大船渡測候所 鈴木 健
18. 福島県における降ひょう時の平均的状态曲線について  
福島地方気象台 川添信房
19. 仙台の海陸風の鉛直構造について（仙台の海陸風について第2報）  
仙台管区気象台 酒井 一

#### 特別講演

関東地方における海陸風の数値シミュレーション  
気象研究所 菊池幸雄  
（中島憲三 仙台管区気象台）